

冬の火山

洞爺湖有珠山ジオパークは、北海道では比較的温暖な地域ですが、冬には昼間でも気温が-2～3℃、冷え込む夜間は-10℃程になることもあります。

そんな時期だからこそ見られるのが、火山ならではの山の姿です。地下のマグマから伝わる熱が、山肌に積もる雪を溶かすため、雪がない部分は地熱が高いということが良くわかります。



昭和新山は 1943 年 12 月 28 日の地震発生から、1945 年 9 月 20 日まで続いた火山活動で、地震と噴火を繰り返しながら隆起してきた火山です。

赤い山肌は、もともとは麦畑だった場所の土が溶岩の熱で焼かれ、天然のレンガのようになったもの。山肌の様子も、木々の葉が落ちた冬だからこそ、くっきりと見ることができます。

夏とは違う「生きている火山」の様子を楽しめるのも、冬ならではのですね。

第34回昭和新山国際雪合戦 開催！

昭和新山国際雪合戦は、冬期間の地域活性化イベントとして 1989 年に第 1 回が開催され、毎年 2 月に壮瞥町・昭和新山の麓を会場に、回を重ねてきました。雪遊びの楽しさをスポーツにまで高めた、選手も観客もどちらも楽しめるイベントです。子どもの頃に楽しんだ雪遊びとの違いは、ルールがしっかり定められていること。コート（雪壁）の広さ、シェルター（雪壁）位置や大きさも決まっています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2 年の休止を経て開催される大会です。予選を勝ち抜いてきた強豪チーム同士の試合を、ぜひ間近でご覧ください。



第32回昭和新山国際雪合戦

開催期日：令和 5 年 2 月 25 日（土）・26 日（日）

開催場所：壮瞥町・昭和新山山麓特設会場

主催：国際雪合戦連合・NPO 法人雪合戦イタナヨカ

※令和 5 年 1 月 10 日時点の情報です

※詳細は公式 HP をご確認ください